

(6) 食肉の入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場 食肉市場

(電話) 258-3131

【牛肉の概要】

農畜産業振興機構が公表した牛肉の需給予測によると、年末にかけて全ての品種で、出荷頭数の減少が見込まれることから、前年同時期をやや下回ると予測されています。当市場では繁忙期に入り共進会の開催も多く、入荷は和牛が中心となるため、交雑・乳牛は通常時期よりやや減少する予定です。

相場については、新型コロナウイルス感染症の影響から、外食需要が以前のような状況に回復することは難しいと予測されますが内食需要が堅調に推移し、政府の補助事業やG o T o E a tキャンペーンなどの影響で、強含みの展開が予想されます。しかし、新型コロナウイルス感染症が更に深刻化する状況になれば、予断を許さないと思われま

(当市場では、輸入牛肉は取り扱っていません。)

【品目別】

和牛	コロナ禍のなか、政府の補助事業やキャンペーンなどもあり、10月以降は、和牛の引き合いが非常に強まっています。外食産業の回復が難しいことや、インバウンド需要の停滞で特選クラスの価格が伸びないことも見受けられますが、それ以外については、引き合いも強く、高値で推移しており、特に3～4等級クラスは前年を上回る展開となっております。
交雑牛	年々頭数が減少しておりますが、和牛が高値で推移していることや、低価格志向もあり、特に年末に向け安価な交雑への需要が強まる傾向にあります。
乳牛	11月に入り共進会の開催が多く予定され、乳牛の取扱いが減少する時期で価格も下げ傾向になりますが、コロナ禍で内食需要が増加しており、そのため加工食品の原料として使用される乳牛は年間を通し引き合いが強まっています。

【豚肉の概要】

入荷に関しては、市場が年末・年始の休みに入ることから、前倒しで出荷するために増加すると思われま